

## 医薬品インタビューフォーム

日本病院薬剤師会の IF 記載要領 2013 に準拠して作成

鎮咳剤

### デキストロメトルファン 臭化水素酸塩錠 15mg 「トーフ」

### デキストロメトルファン 臭化水素酸塩散 10% 「トーフ」

DEXTROMETHORPHAN HYDROBROMIDE TABLETS 15 mg “TOWA”

DEXTROMETHORPHAN HYDROBROMIDE POWDER 10% “TOWA”

《デキストロメトルファン臭化水素酸塩錠》

《デキストロメトルファン臭化水素酸塩散》

|   |  |                                       |
|---|--|---------------------------------------|
| 製 品 名                                   | デキストロメトルファン臭化水素酸塩錠 15mg<br>「トーフ」   | デキストロメトルファン臭化水素酸塩散 10%<br>「トーフ」       |
| 剤 形                                     | 素錠   | 散剤                                    |
| 製 剤 の 規 制 区 分                           | 該当しない  | 劇薬                                    |
| 規 格 ・ 含 量                               | 1錠中 日局 デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物 15mg 含有  | 1g 中 日局 デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物 100mg 含有 |
| 一 般 名                                   | 和名：デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物 (JAN)<br>洋名：Dextromethorphan Hydrobromide Hydrate (JAN)  |                                       |
| 製 造 販 売 承 認 年 月 日                       | 2017年 6月 22日   |                                       |
| 薬 価 基 準 収 載 年 月 日                       | 2017年 12月 8日   |                                       |
| 発 売 年 月 日                               | 1975年 1月 1日  |                                       |
| 開 発 ・ 製 造 販 売 ( 輸 入 ) ・ 提 携 ・ 販 売 会 社 名 | 製造販売元：東和薬品株式会社   |                                       |
| 医 薬 情 報 担 当 者 の 連 絡 先                   | 電話番号：<br>FAX：  |                                       |
| 問 い 合 わ せ 窓 口                           | 東和薬品株式会社 学術部 DI センター(24時間受付対応)<br> 0120-108-932<br>TEL 06-6900-9108 FAX 06-6908-5797<br><a href="http://www.towayakuhin.co.jp/forstaff">http://www.towayakuhin.co.jp/forstaff</a> |                                       |

本 IF は 2017 年 12 月改訂(第 13 版、販売名の変更)の添付文書の記載に基づき作成した。

最新の添付文書情報は医薬品医療機器情報提供ホームページ

<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> にてご確認ください。

# IF 利用の手引きの概要 — 日本病院薬剤師会 —

## 1. 医薬品インタビューフォーム作成の経緯

医療用医薬品の基本的な要約情報として医療用医薬品添付文書(以下、添付文書と略す)がある。医療現場で医師・薬剤師等の医療従事者が日常業務に必要な医薬品の適正使用情報を活用する際には、添付文書に記載された情報を裏付ける更に詳細な情報が必要な場合がある。

医療現場では、当該医薬品について製薬企業の医薬情報担当者等に情報の追加請求や質疑をして情報を補完して対処してきている。この際に必要な情報を網羅的に入手するための情報リストとしてインタビューフォームが誕生した。

昭和 63 年に日本病院薬剤師会(以下、日病薬と略す)学術第 2 小委員会が「医薬品インタビューフォーム」(以下、IF と略す)の位置付け並びに IF 記載様式を策定した。その後、医療従事者向け並びに患者向け医薬品情報ニーズの変化を受けて、平成 10 年 9 月に日病薬学術第 3 小委員会において IF 記載要領の改訂が行われた。

更に 10 年が経過し、医薬品情報の創り手である製薬企業、使い手である医療現場の薬剤師、双方にとって薬事・医療環境は大きく変化したことを受けて、平成 20 年 9 月に日病薬医薬情報委員会において IF 記載要領 2008 が策定された。

IF 記載要領 2008 では、IF を紙媒体の冊子として提供する方式から、PDF 等の電磁的データとして提供すること(e-IF)が原則となった。この変更にあわせて、添付文書において「効能・効果の追加」、「警告・禁忌・重要な基本的注意の改訂」などの改訂があった場合に、改訂の根拠データを追加した最新版の e-IF が提供されることとなった。

最新版の e-IF は、(独)医薬品医療機器総合機構の医薬品情報提供ホームページ(<http://www.info.pmda.go.jp/>)から一括して入手可能となっている。日本病院薬剤師会では、e-IF を掲載する医薬品情報提供ホームページが公的サイトであることに配慮して、薬価基準収載にあわせて e-IF の情報を検討する組織を設置して、個々の IF が添付文書を保管する適正使用情報として適切か審査・検討することとした。

2008 年より年 4 回のインタビューフォーム検討会を開催した中で指摘してきた事項を再評価し、製薬企業にとっても、医師・薬剤師等にとっても、効率の良い情報源とすることを考えた。そこで今般、IF 記載要領の一部改訂を行い IF 記載要領 2013 として公表する運びとなった。

## 2. IF とは

IF は「添付文書等の情報を補完し、薬剤師等の医療従事者にとって日常業務に必要な、医薬品の品質管理のための情報、処方設計のための情報、調剤のための情報、医薬品の適正使用のための情報、薬学的な患者ケアのための情報等が集約された総合的な個別の医薬品解説書として、日病薬が記載要領を策定し、薬剤師等のために当該医薬品の製薬企業に作成及び提供を依頼している学術資料」と位置付けられる。

ただし、薬事法・製薬企業機密等に関わるもの、製薬企業の製剤努力を無効にするもの及び薬剤師自らが評価・判断・提供すべき事項等は IF の記載事項とはならない。言い換えると、製薬企業から提供された IF は、薬剤師自らが評価・判断・臨床適応するとともに、必要な補完をするものという認識を持つことを前提としている。

#### [IFの様式]

- ①規格は A4 版、横書きとし、原則として 9 ポイント以上の字体(図表は除く)で記載し、一色刷りとする。ただし、添付文書で赤枠・赤字を用いた場合には、電子媒体ではこれに従うものとする。
- ②IF 記載要領に基づき作成し、各項目名はゴシック体で記載する。
- ③表紙の記載は統一し、表紙に続けて日病薬作成の「IF 利用の手引きの概要」の全文を記載するものとし、2 頁にまとめる。

#### [IFの作成]

- ①IF は原則として製剤の投与経路別(内用剤、注射剤、外用剤)に作成される。
- ②IF に記載する項目及び配列は日病薬が策定した IF 記載要領に準拠する。
- ③添付文書の内容を補完するとの IF の主旨に沿って必要な情報が記載される。
- ④製薬企業の機密等に関するもの、製薬企業の製剤努力を無効にするもの及び薬剤師をはじめ医療従事者自らが評価・判断・提供すべき事項については記載されない。
- ⑤「医薬品インタビューフォーム記載要領 2013」(以下、「IF 記載要領 2013」と略す)により作成された IF は、電子媒体での提供を基本とし、必要に応じて薬剤師が電子媒体(PDF)から印刷して使用する。企業での製本は必須ではない。

#### [IFの発行]

- ①「IF 記載要領 2013」は、平成 25 年 10 月以降に承認された新医薬品から適用となる。
- ②上記以外の医薬品については、「IF 記載要領 2013」による作成・提供は強制されるものではない。
- ③使用上の注意の改訂、再審査結果又は再評価結果(臨床再評価)が公表された時点並びに適応症の拡大等がなされ、記載すべき内容が大きく変わった場合には IF が改訂される。

### 3. IFの利用にあたって

「IF 記載要領 2013」においては、PDF ファイルによる電子媒体での提供を基本としている。情報を利用する薬剤師は、電子媒体から印刷して利用することが原則である。電子媒体の IF については、医薬品医療機器総合機構の医薬品医療機器情報提供ホームページに掲載場所が設定されている。

製薬企業は「医薬品インタビューフォーム作成の手引き」に従って作成・提供するが、IF の原点を踏まえ、医療現場に不足している情報や IF 作成時に記載し難い情報等については製薬企業の MR 等へのインタビューにより薬剤師等自らが内容を充実させ、IF の利用性を高める必要がある。また、随時改訂される使用上の注意等に関する事項に関しては、IF が改訂されるまでの間は、当該医薬品の製薬企業が提供する添付文書やお知らせ文書等、あるいは医薬品医療機器情報配信サービス等により薬剤師等自らが整備するとともに、IF の使用にあたっては、最新の添付文書を医薬品医療機器情報提供ホームページで確認する。

なお、適正使用や安全性の確保の点から記載されている「臨床成績」や「主な外国での発売状況」に関する項目等は承認事項に関わることもあり、その取扱いには十分留意すべきである。

### 4. 利用に際しての留意点

IF を薬剤師等の日常業務において欠かすことができない医薬品情報源として活用して頂きたい。しかし、薬事法や医療用医薬品プロモーションコード等による規制により、製薬企業が医薬品情報として提供できる範囲には自ずと限界がある。IF は日病薬の記載要領を受けて、当該医薬品の製薬企業が作成・提供するものであることから、記載・表現には制約を受けざるを得ないことを認識しておかなければならない。また製薬企業は、IF があくまでも添付文書を補完する情報資材であり、今後インターネットでの公開等も踏まえ、薬事法上の広告規制に抵触しないよう留意し作成されていることを理解して情報を活用する必要がある。

(2013 年 4 月)

# 目 次

|                             |    |                                  |    |
|-----------------------------|----|----------------------------------|----|
| I. 概要に関する項目                 | 1  | VIII. 安全性(使用上の注意等)に関する項目         | 18 |
| 1. 開発の経緯                    | 1  | 1. 警告内容とその理由                     | 18 |
| 2. 製品の治療学的・製剤学的特性           | 1  | 2. 禁忌内容とその理由(原則禁忌を含む)            | 18 |
| II. 名称に関する項目                | 2  | 3. 効能・効果に関連する使用上の注意とその理由         | 18 |
| 1. 販売名                      | 2  | 4. 用法・用量に関連する使用上の注意とその理由         | 18 |
| 2. 一般名                      | 2  | 5. 慎重投与内容とその理由                   | 18 |
| 3. 構造式又は示性式                 | 2  | 6. 重要な基本的注意とその理由及び処置方法           | 18 |
| 4. 分子式及び分子量                 | 2  | 7. 相互作用                          | 18 |
| 5. 化学名(命名法)                 | 3  | 8. 副作用                           | 19 |
| 6. 慣用名、別名、略号、記号番号           | 3  | 9. 高齢者への投与                       | 20 |
| 7. CAS登録番号                  | 3  | 10. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与               | 20 |
| III. 有効成分に関する項目             | 4  | 11. 小児等への投与                      | 20 |
| 1. 物理化学的性質                  | 4  | 12. 臨床検査結果に及ぼす影響                 | 20 |
| 2. 有効成分の各種条件下における安定性        | 4  | 13. 過量投与                         | 20 |
| 3. 有効成分の確認試験法               | 4  | 14. 適用上の注意                       | 21 |
| 4. 有効成分の定量法                 | 4  | 15. その他の注意                       | 21 |
| IV. 製剤に関する項目                | 5  | 16. その他                          | 21 |
| 1. 剤形                       | 5  | IX. 非臨床試験に関する項目                  | 22 |
| 2. 製剤の組成                    | 5  | 1. 薬理試験                          | 22 |
| 3. 懸濁剤、乳剤の分散性に対する注意         | 6  | 2. 毒性試験                          | 22 |
| 4. 製剤の各種条件下における安定性          | 6  | X. 管理的事項に関する項目                   | 23 |
| 5. 調製法及び溶解後の安定性             | 8  | 1. 規制区分                          | 23 |
| 6. 他剤との配合変化(物理化学的変化)        | 8  | 2. 有効期間又は使用期限                    | 23 |
| 7. 溶出性                      | 8  | 3. 貯法・保存条件                       | 23 |
| 8. 生物学的試験法                  | 10 | 4. 薬剤取扱い上の注意点                    | 23 |
| 9. 製剤中の有効成分の確認試験法           | 10 | 5. 承認条件等                         | 23 |
| 10. 製剤中の有効成分の定量法            | 10 | 6. 包装                            | 24 |
| 11. 力価                      | 10 | 7. 容器の材質                         | 24 |
| 12. 混入する可能性のある夾雑物           | 10 | 8. 同一成分・同効薬                      | 24 |
| 13. 注意が必要な容器・外観が特殊な容器に関する情報 | 10 | 9. 国際誕生年月日                       | 24 |
| 14. その他                     | 10 | 10. 製造販売承認年月日及び承認番号              | 24 |
| V. 治療に関する項目                 | 11 | 11. 薬価基準収載年月日                    | 24 |
| 1. 効能・効果                    | 11 | 12. 効能・効果追加、用法・用量変更追加等の年月日及びその内容 | 24 |
| 2. 用法・用量                    | 11 | 13. 再審査結果、再評価結果公表年月日及びその内容       | 25 |
| 3. 臨床成績                     | 11 | 14. 再審査期間                        | 25 |
| VI. 薬効薬理に関する項目              | 13 | 15. 投薬期間制限医薬品に関する情報              | 25 |
| 1. 薬理的に関連ある化合物又は化合物群        | 13 | 16. 各種コード                        | 25 |
| 2. 薬理作用                     | 13 | 17. 保険給付上の注意                     | 25 |
| VII. 薬物動態に関する項目             | 14 | XI. 文 献                          | 26 |
| 1. 血中濃度の推移・測定法              | 14 | 1. 引用文献                          | 26 |
| 2. 薬物速度論的パラメータ              | 15 | 2. その他の参考文献                      | 26 |
| 3. 吸収                       | 16 | XII. 参考資料                        | 26 |
| 4. 分布                       | 16 | 1. 主な外国での発売状況                    | 26 |
| 5. 代謝                       | 16 | 2. 海外における臨床支援情報                  | 26 |
| 6. 排泄                       | 17 | XIII. 備 考                        | 26 |
| 7. トランスポーターに関する情報           | 17 | その他の関連資料                         | 26 |
| 8. 透析等による除去率                | 17 |                                  |    |

---

## I. 概要に関する項目

### 1. 開発の経緯

デキストロメトルファン臭化水素酸塩錠及び散は鎮咳剤であり、本邦ではそれぞれ 1955 年(散)及び 1969 年(錠)に上市されている。東和薬品株式会社が後発医薬品として、シーサー錠及びシーサー P の開発を企画し、規格及び試験方法を設定、加速試験、生物学的同等性試験を実施し、1974 年 8 月にそれぞれ承認を取得、1975 年 1 月に発売した。

その後、医療事故防止のため、2006 年 6 月にシーサー錠 15mg 及びシーサー散 10%とそれぞれ販売名の変更を行った。

更に 2017 年 12 月にデキストロメトルファン臭化水素酸塩錠 15mg 「トーワ」及びデキストロメトルファン臭化水素酸塩散 10% 「トーワ」と販売名の変更を行い、現在に至る。

### 2. 製品の治療学的・製剤学的特性

**有用性：**デキストロメトルファン臭化水素酸塩錠 15mg 「トーワ」及びデキストロメトルファン臭化水素酸塩散 10% 「トーワ」は、感冒、急性気管支炎、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺炎、肺結核、上気道炎(咽喉頭炎、鼻カタル)に伴う咳嗽と気管支造影術および気管支鏡検査時の咳嗽に対して、デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物として、通常成人 1 回 15～30mg を 1 日 1～4 回経口投与することにより、有用性が認められている。

**安全性：**本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

副作用として、発疹、眠気等が報告されている。〔VIII. 8. (3) その他の副作用の項を参照〕  
重大な副作用として、呼吸抑制、ショック、アナフィラキシーがあらわれることがある。〔VIII. 8. (2) 重大な副作用と初期症状の項を参照〕

## Ⅱ. 名称に関する項目

### 1. 販売名

#### (1) 和名

デキストロメトルファン臭化水素酸塩錠 15mg 「トーワ」

デキストロメトルファン臭化水素酸塩散 10% 「トーワ」

#### (2) 洋名

DEXTROMETHORPHAN HYDROBROMIDE TABLETS 15mg “TOWA”

DEXTROMETHORPHAN HYDROBROMIDE POWDER 10% “TOWA”

#### (3) 名称の由来

一般名+剤形+規格(含量)+「トーワ」

〔「医療用後発医薬品の承認申請にあたっての販売名の命名に関する留意事項について」(平成 17 年 9 月 22 日 薬食審査発第 0922001 号)に基づく〕

### 2. 一般名

#### (1) 和名(命名法)

デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物(JAN)

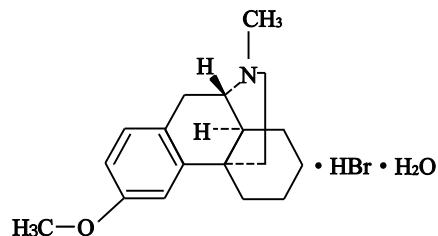
#### (2) 洋名(命名法)

Dextromethorphan Hydrobromide Hydrate(JAN)

#### (3) ステム

-orph(an) : morphinan 関連の麻薬拮抗作用薬

### 3. 構造式又は示性式



### 4. 分子式及び分子量

分子式 : C<sub>18</sub>H<sub>25</sub>NO · HBr · H<sub>2</sub>O

分子量 : 370.32

---

5. 化学名(命名法)

(9*S*,13*S*,14*S*)-3-Methoxy-17-methylmorphinan monohydrobromide monohydrate (IUPAC)

6. 慣用名、別名、略号、記号番号

別名：臭化水素酸デキストロメトルファン  
デキストロメトルファン臭化水素酸塩

7. CAS登録番号

6700-34-1

### Ⅲ. 有効成分に関する項目

#### 1. 物理化学的性質

##### (1) 外観・性状

白色の結晶又は結晶性の粉末である。

##### (2) 溶解性

| 溶 媒       | 1g を溶かすのに要する溶媒量 |          | 溶 解 性    |
|-----------|-----------------|----------|----------|
| メタノール     | 1mL 未満          |          | 極めて溶けやすい |
| エタノール(95) | 1mL 以上          | 10mL 未満  | 溶けやすい    |
| 酢酸(100)   | 1mL 以上          | 10mL 未満  | 溶けやすい    |
| 水         | 30mL 以上         | 100mL 未満 | やや溶けにくい  |

##### (3) 吸 湿 性

該当資料なし

##### (4) 融点(分解点)・沸点・凝固点

融点：約 126°C(116°Cの浴液中に挿入し、1 分間に約 3°C上昇するように加熱を続ける。)

##### (5) 酸塩基解離定数

該当資料なし

##### (6) 分配係数

該当資料なし

##### (7) その他の主な示性値

該当資料なし

#### 2. 有効成分の各種条件下における安定性

該当資料なし

#### 3. 有効成分の確認試験法

日局「デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物」の確認試験による

#### 4. 有効成分の定量法




日局「デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物」の定量法による



## IV. 製剤に関する項目

### 1. 剤形

#### (1) 剤形の区別、外観及び性状

|           |  |  |   |   |
|-----------|--|--|---|---|
| 製品名       | デキストロメトルファン<br>臭化水素酸塩錠 15mg 「トーワ」  |  | デキストロメトルファン<br>臭化水素酸塩散 10% 「トーワ」  |   |
| 剤形の区別     | 素錠   |  | 散剤  |   |
| 性状        | 白色の素錠  |  | 白色の散剤   |   |
| 識別<br>コード | 本体   | TwSST  |   |   |
|           | 包装   | Tw.SST   |   |   |
| 外形        | 表<br> | 裏<br> | 側面<br> | / |
| 錠径(mm)    | 8.0  |  |   |   |
| 厚さ(mm)    | 4.3  |  |   |   |
| 質量(mg)    | 200  |  |   |   |

#### (2) 製剤の物性

|     |                                   |
|-----|-----------------------------------|
| 製品名 | デキストロメトルファン<br>臭化水素酸塩錠 15mg 「トーワ」 |
| 硬度  | 7.4kg 重                           |

#### (3) 識別コード

(1) 剤形の区別、外観及び性状の項を参照

#### (4) pH、浸透圧比、粘度、比重、無菌の旨及び安定な pH 域等

該当しない

### 2. 製剤の組成

#### (1) 有効成分(活性成分)の含量

デキストロメトルファン臭化水素酸塩錠 15mg 「トーワ」

1錠中 日局 デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物 15mg を含有する。

デキストロメトルファン臭化水素酸塩散 10% 「トーワ」

1g 中 日局 デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物 100mg を含有する。

(2) 添加物

| 使用目的 | 添加物             |
|------|-----------------|
| 賦形剤  | 乳糖水和物           |
| 崩壊剤  | バレイショデンプン       |
| 滑沢剤  | ステアリン酸 Mg(錠剤のみ) |

(3) その他

該当資料なし

3. 懸濁剤、乳剤の分散性に対する注意

該当しない

4. 製剤の各種条件下における安定性

(1) 加速試験

デキストロメトर्फアン臭化水素酸塩錠 15mg 「トーワ」<sup>1)</sup>

包装形態：PTP 包装した製品

試験条件：40℃、75%RH、3ロット(n=3)

| 試験項目    | 開始時        | 6 箇月      |
|---------|------------|-----------|
| 性状      | 白色の素錠      | 同左        |
| 確認試験    | 適合         | 同左        |
| 製剤均一性   | 適合         | 同左        |
| 崩壊時間(分) | 2.5~3.2    | 2.7~3.2   |
| 含量(%)   | 97.9~100.1 | 97.9~99.1 |

包装形態：ポリエチレン袋に入れ、ブリキ缶に入れた製品

試験条件：40℃、75%RH、3ロット(n=3)

| 試験項目    | 開始時        | 6 箇月      |
|---------|------------|-----------|
| 性状      | 白色の素錠      | 同左        |
| 確認試験    | 適合         | 同左        |
| 製剤均一性   | 適合         | 同左        |
| 崩壊時間(分) | 2.6~3.0    | 3.0~3.4   |
| 含量(%)   | 98.3~100.3 | 98.1~98.9 |

最終包装製品を用いた加速試験(40℃、相対湿度 75%、6 箇月)の結果、デキストロメトर्फアン臭化水素酸塩錠 15mg 「トーワ」は通常の市場流通下において 3 年間安定であることが推測された。

(2) 長期保存試験

デキストロメトルファン臭化水素酸塩錠 15mg 「トーワ」<sup>2)</sup>

包装形態：PTP 包装した製品

試験条件：室温保存、3 ロット(n=1)

| 試験項目    | 開始時         | 5 年 3 箇月    |
|---------|-------------|-------------|
| 性状      | 白色の素錠       | 同左          |
| 崩壊時間(分) | 2~3         | 2~4         |
| 含量(%)   | 100.1~101.5 | 100.5~100.7 |

包装形態：ポリエチレン瓶に入れた製品

試験条件：室温保存、1 ロット(n=1)

| 試験項目    | 開始時   | 5 年 3 箇月 |
|---------|-------|----------|
| 性状      | 白色の素錠 | 同左       |
| 崩壊時間(分) | 2     | 2        |
| 含量(%)   | 100.1 | 100.7    |

最終包装製品を用いた長期保存試験(室温保存、5 年 3 箇月)の結果、デキストロメトルファン臭化水素酸塩錠 15mg 「トーワ」は通常の市場流通下において 5 年間安定であることが確認された。

デキストロメトルファン臭化水素酸塩散 10% 「トーワ」<sup>3)</sup>

包装形態：ポリエチレン袋に入れた製品

試験条件：室温保存、3 ロット(n=1)

| 試験項目   | 開始時        | 4 年 3 箇月    |
|--------|------------|-------------|
| 性状     | 白色の散剤      | 同左          |
| 溶出率(%) | 84.9~101.6 | 83.9~102.5* |
| 含量(%)  | 99.8~100.7 | 98.9~100.3  |

\*：12 検体中 10 検体以上の個々の溶出率が規定する値であり、適合した。(1 ロット)

長期保存試験(室温保存、4 年 3 箇月)の結果、デキストロメトルファン臭化水素酸塩散 10% 「トーワ」は通常の市場流通下において 4 年間安定であることが確認された。

### (3) 無包装状態における安定性

#### デキストロメトルファン臭化水素酸塩錠 15mg 「トーワ」<sup>4)</sup>

| 試験項目 | 開始時  | 温度<br>(40℃、3 箇月) | 湿度<br>(25℃、75%RH、3 箇月) | 光<br>(60 万 lx・hr) |
|------|------|------------------|------------------------|-------------------|
| 外観   | 問題なし | 問題なし             | 問題なし                   | 問題なし              |
| 含量   | 問題なし | 問題なし             | 問題なし                   | 問題なし              |
| 硬度   | 問題なし | 問題なし             | 問題なし                   | 問題なし              |
| 崩壊性  | 問題なし | 問題なし             | 問題なし                   | 問題なし              |

注)「(社)日本病院薬剤師会：錠剤・カプセル剤の無包装状態での安定性試験法について(答申)、平成 11 年 8 月 20 日」に準じて試験を実施した。

#### デキストロメトルファン臭化水素酸塩散 10% 「トーワ」<sup>5)</sup>

| 試験項目 | 開始時  | 温度<br>(40℃、3 箇月) | 湿度<br>(25℃、75%RH、3 箇月) | 光<br>(60 万 lx・hr) |
|------|------|------------------|------------------------|-------------------|
| 外観   | 問題なし | 問題なし             | 問題なし                   | 問題なし              |
| 含量   | 問題なし | 問題なし             | 問題なし                   | 問題なし              |
| 溶出性  | 問題なし | 問題なし             | 問題なし                   | 問題なし              |

注)「(社)日本病院薬剤師会：錠剤・カプセル剤の無包装状態での安定性試験法について(答申)、平成 11 年 8 月 20 日」に準じて試験を実施した。

### 5. 調製法及び溶解後の安定性

該当しない

### 6. 他剤との配合変化(物理化学的变化)

該当しない

### 7. 溶出性

#### (1) 規格及び試験方法<sup>6)</sup>

##### デキストロメトルファン臭化水素酸塩散 10% 「トーワ」

デキストロメトルファン臭化水素酸塩散 10% 「トーワ」は、日本薬局方外医薬品規格第 3 部に定められた臭化水素酸デキストロメトルファン散の溶出規格に適合していることが確認されている。

方 法：日局溶出試験法(パドル法)

試験液：水 900mL

回転数：50rpm

測定法：液体クロマトグラフィー

規 格：15 分間の溶出率が 85%以上のときは適合とする。

〔出典：日本薬局方外医薬品規格第 3 部〕

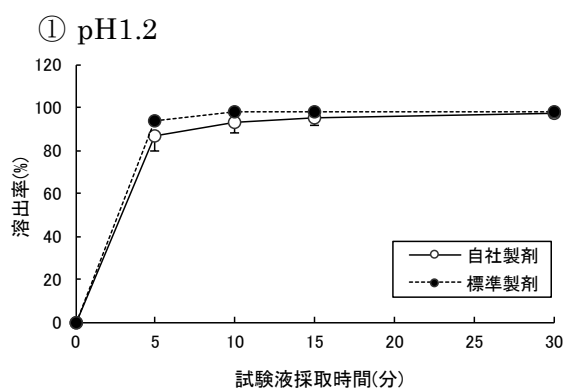
(2) 品質再評価

デキストロメトルファン臭化水素酸塩散 10%「トーワ」<sup>6)</sup>

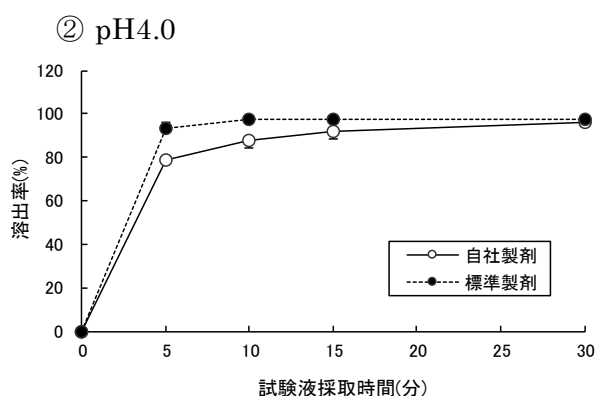
デキストロメトルファン臭化水素酸塩散10%「トーワ」の溶出試験

デキストロメトルファン臭化水素酸塩散10%「トーワ」につき、標準製剤を用いて、品質再評価(第17次)で指定された下記4種の試験液を用いて溶出試験を行った。

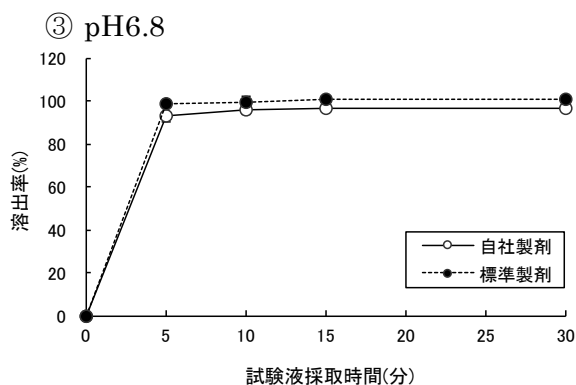
|        |       |  |    |         |
|--------|-------|--|----|---------|
| 名称     | 販売名   | デキストロメトルファン臭化水素酸塩散10%「トーワ」   |    |         |
|        | 有効成分名 | デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物   |    |         |
| 剤形     |       | 散剤   | 含量 | 100mg/g |
| 溶出試験条件 | 回転数   | 50rpm  |    |         |
|        | 界面活性剤 | なし   |    |         |
|        | 試験液   | ① pH1.2 : 日本薬局方崩壊試験の第1液<br>② pH4.0 : 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液(0.05mol/L)<br>③ pH6.8 : 日本薬局方試薬・試液のリン酸塩緩衝液(1→2)<br>④ 水 : 日本薬局方精製水 |    |         |



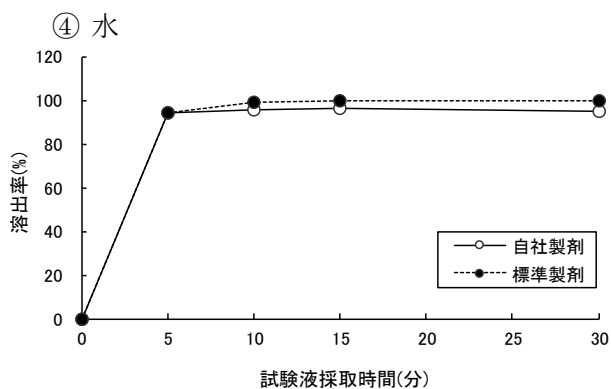
| pH1.2 | 0分 | 5分   | 10分  | 15分  | 30分  |
|-------|----|------|------|------|------|
| 自社製剤  | 0  | 86.5 | 92.7 | 95.0 | 97.1 |
| 標準製剤  | 0  | 93.4 | 98.0 | 97.9 | 97.9 |



| pH4.0 | 0分 | 5分   | 10分  | 15分  | 30分  |
|-------|----|------|------|------|------|
| 自社製剤  | 0  | 79.1 | 87.5 | 91.7 | 96.0 |
| 標準製剤  | 0  | 93.5 | 97.5 | 97.5 | 97.6 |



| pH6.8 | 0分 | 5分   | 10分  | 15分   | 30分   |
|-------|----|------|------|-------|-------|
| 自社製剤  | 0  | 93.3 | 95.5 | 96.3  | 96.7  |
| 標準製剤  | 0  | 98.6 | 99.6 | 100.6 | 100.6 |



| 水    | 0分 | 5分   | 10分  | 15分  | 30分  |
|------|----|------|------|------|------|
| 自社製剤 | 0  | 94.0 | 95.5 | 95.9 | 94.6 |
| 標準製剤 | 0  | 94.4 | 99.3 | 99.7 | 99.7 |

後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドラインに従い、自社製剤と標準製剤の4種の試験液における溶出挙動の同等性を判定した結果、自社製剤と標準製剤は同等であると判定された。

---

8. 生物学的試験法

該当しない

9. 製剤中の有効成分の確認試験法

- (1) モリブデン酸アンモニウムによる呈色反応
- (2) 紫外可視吸光度測定法

10. 製剤中の有効成分の定量法

紫外可視吸光度測定法

11. 力価

該当しない

12. 混入する可能性のある夾雑物

該当資料なし

13. 注意が必要な容器・外観が特殊な容器に関する情報

該当しない

14. その他

該当しない

---

## V. 治療に関する項目

### 1. 効能・効果

下記疾患に伴う咳嗽

感冒、急性気管支炎、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺炎、肺結核、上気道炎（咽喉頭炎、鼻カタル）

気管支造影術および気管支鏡検査時の咳嗽

### 2. 用法・用量

デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物として、通常成人1回 15～30 mgを1日1～4回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

### 3. 臨床成績

#### (1) 臨床データパッケージ

該当資料なし

#### (2) 臨床効果

該当資料なし

#### (3) 臨床薬理試験

該当資料なし

#### (4) 探索的試験

該当資料なし

#### (5) 検証的試験

##### 1) 無作為化並行用量反応試験

該当資料なし

##### 2) 比較試験

該当資料なし

##### 3) 安全性試験

該当資料なし

##### 4) 患者・病態別試験

該当資料なし

---

(6) 治療的使用

- 1) 使用成績調査・特定使用成績調査(特別調査)・製造販売後臨床試験(市販後臨床試験)

該当資料なし

- 2) 承認条件として実施予定の内容又は実施した試験の概要

該当しない



---

## VI. 薬効薬理に関する項目

### 1. 薬理的に関連ある化合物又は化合物群

デキストロメトルファン：モルフィン誘導体

クレゾールスルホン酸カリウム：グリセリン・モノグアヤコール・エーテル、グアヤコール・スルホン酸カリウム

### 2. 薬理作用

#### (1) 作用部位・作用機序

延髄にある咳中枢に直接作用し、咳反射の閾値を上げて鎮咳作用を示す。

#### (2) 薬効を裏付ける試験成績

該当資料なし

#### (3) 作用発現時間・持続時間

該当資料なし

## VII. 薬物動態に関する項目

### 1. 血中濃度の推移・測定法

#### (1) 治療上有効な血中濃度

該当資料なし

#### (2) 最高血中濃度到達時間

(3) 臨床試験で確認された血中濃度の項を参照

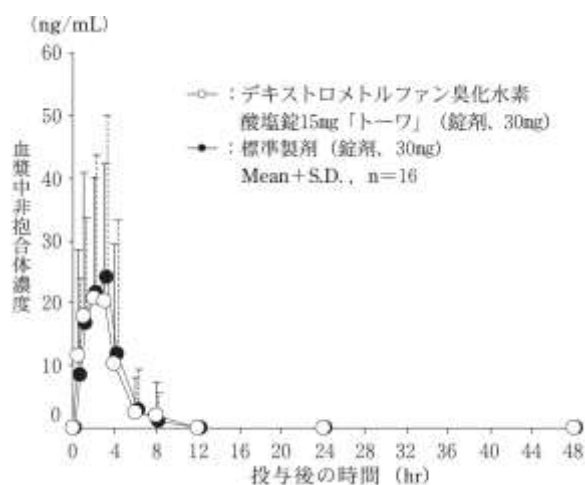
#### (3) 臨床試験で確認された血中濃度

生物学的同等性試験<sup>7)</sup>

デキストロメトルファン臭化水素酸塩錠 15mg 「トーワ」

デキストロメトルファン臭化水素酸塩錠 15mg 「トーワ」と標準製剤を、クロスオーバー法によりそれぞれ 2 錠(デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物として 30mg)健康成人男子(n=16)に絶食単回経口投与して非抱合体の血漿中濃度及び非抱合体と抱合体の合計の血漿中濃度を測定し、得られた薬物動態パラメータ(AUC、Cmax)について統計解析を行った結果、両剤の生物学的同等性が確認された(昭和 55 年 5 月 30 日 薬審第 718 号に基づく)。

#### 1) 非抱合体

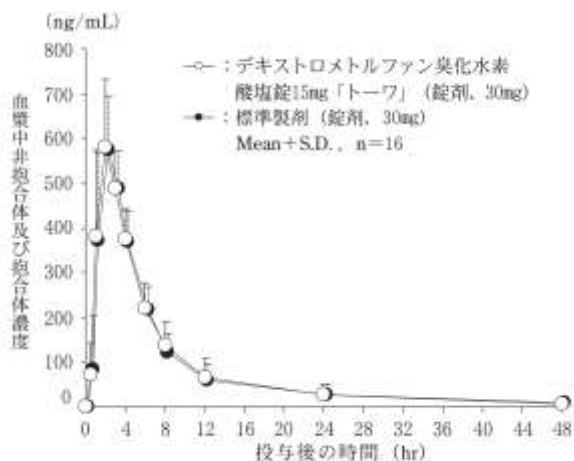


|   | 判定パラメータ                          |                             | 参考パラメータ                  |                          |
|---|----------------------------------|-----------------------------|--------------------------|--------------------------|
|   | AUC <sub>0-t</sub><br>(ng·hr/mL) | C <sub>max</sub><br>(ng/mL) | T <sub>max</sub><br>(hr) | T <sub>1/2</sub><br>(hr) |
| デキストロメトルファン臭化水素酸塩錠15mg「トーワ」<br>(錠剤, 30mg) | 86.8±69.8                        | 37.2±26.3                   | 2.06±2.07                | 1.63±0.84                |
| 標準製剤<br>(錠剤, 30mg)                        | 89.1±78.6                        | 38.9±28.9                   | 1.63±1.40                | 1.63±0.84                |

(Mean±S.D., n=16)

血漿中濃度並びに AUC、Cmax 等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

2) 非抱合体+抱合体



|  | 判定パラメータ                          |                             | 参考パラメータ                  |                          |
|--|----------------------------------|-----------------------------|--------------------------|--------------------------|
|  | AUC <sub>0-∞</sub><br>(ng·hr/mL) | C <sub>max</sub><br>(ng/mL) | T <sub>max</sub><br>(hr) | T <sub>1/2</sub><br>(hr) |
| デキストロメトर्फェン臭化水素酸塩錠15mg「トーワ」<br>(錠剤, 30mg) | 3866.7±1149.6                    | 592.2±133.1                 | 2.25±0.45                | 9.19±6.57                |
| 標準製剤<br>(錠剤, 30mg)                         | 3802.5±915.1                     | 588.5±112.9                 | 1.94±0.44                | 9.20±7.12                |

(Mean±S.D., n=16)

血漿中濃度並びに AUC、C<sub>max</sub> 等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

(4) 中毒域

該当資料なし

(5) 食事・併用薬の影響

該当資料なし

(6) 母集団(ポピュレーション)解析により判明した薬物体内動態変動要因

該当資料なし

2. 薬物速度論的パラメータ

(1) 解析方法

該当資料なし

(2) 吸収速度定数

該当資料なし

(3) バイオアベイラビリティ

該当資料なし

---

(4) 消失速度定数

該当資料なし

(5) クリアランス

該当資料なし

(6) 分布容積

該当資料なし

(7) 血漿蛋白結合率

該当資料なし

3. 吸 収

該当資料なし

4. 分 布

(1) 血液－脳関門通過性

該当資料なし

(2) 血液－胎盤関門通過性

該当資料なし

(3) 乳汁への移行性

該当資料なし

(4) 髄液への移行性

該当資料なし

(5) その他の組織への移行性

該当資料なし

5. 代 謝

(1) 代謝部位及び代謝経路

該当資料なし

(2) 代謝に関与する酵素(CYP450 等)の分子種

本剤は、主に肝代謝酵素 CYP2D6 で代謝される。

---

(3) 初回通過効果の有無及びその割合

該当資料なし

(4) 代謝物の活性の有無及び比率

該当資料なし

(5) 活性代謝物の速度論的パラメータ

該当資料なし

6. 排 泄

(1) 排泄部位及び経路

該当資料なし

(2) 排泄率

該当資料なし

(3) 排泄速度

該当資料なし

7. トランスポーターに関する情報

該当資料なし

8. 透析等による除去率

該当資料なし

## VIII. 安全性(使用上の注意等)に関する項目

### 1. 警告内容とその理由

該当しない

### 2. 禁忌内容とその理由(原則禁忌を含む)

#### 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

- 1) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2) MAO阻害剤投与中の患者(「相互作用」の項参照)

### 3. 効能・効果に関連する使用上の注意とその理由

該当しない

### 4. 用法・用量に関連する使用上の注意とその理由

該当しない

### 5. 慎重投与内容とその理由

該当しない

### 6. 重要な基本的注意とその理由及び処置方法

#### 重要な基本的注意

眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。

### 7. 相互作用

本剤は、主に肝代謝酵素 CYP2D6 で代謝される。

#### (1) 併用禁忌とその理由

#### 併用禁忌(併用しないこと)

| 薬剤名等   | 臨床症状・措置方法  | 機序・危険因子   |
|--------|--|---|
| MAO阻害剤 | 臨床症状：セロトニン症候群(痙攣、ミオクローヌス、反射亢進、発汗、異常高熱、昏睡等)があらわれるとの報告がある。 | デキストロメトルファンは中枢のセロトニン濃度を上昇させる。<br>MAO阻害剤はセロトニンの代謝を阻害し、セロトニンの濃度を上昇させる。併用によりセロトニンの濃度が更に高くなるおそれがある。 |

(2) 併用注意とその理由

| 併用注意（併用に注意すること）   |                                    |   |
|---|------------------------------------|---|
| 薬剤名等  | 臨床症状・措置方法                          | 機序・危険因子                                     |
| 薬物代謝酵素(CYP2D6)を阻害する薬剤<br>キニジン<br>アミオダロン<br>テルビナフィン<br>等 | 本剤の血中濃度が上昇することがある。                 | これらの薬剤の薬物代謝酵素(CYP2D6)阻害作用により、本剤の代謝が阻害されるため。 |
| セロトニン作用薬<br>選択的セロトニン再取り込み阻害剤（SSRI）<br>等                 | セロトニン症候群等のセロトニン作用による症状があらわれることがある。 | セロトニン作用が増強するおそれがある。                         |

8. 副作用

(1) 副作用の概要

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(2) 重大な副作用と初期症状

**重大な副作用（頻度不明）**  
(1) 呼吸抑制：呼吸抑制があらわれることがあるので、このような場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。  
(2) ショック、アナフィラキシー：ショック、アナフィラキシー（呼吸困難、蕁麻疹、血管浮腫等）があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(3) その他の副作用

| その他の副作用           |                         |
|-------------------|-------------------------|
|                   | 頻度不明                    |
| 過敏症 <sup>注)</sup> | 発疹                      |
| 精神神経系             | 眠気、頭痛、眩暈、不快、不眠          |
| 消化器               | 悪心・嘔吐、食欲不振、便秘、腹痛、口渇、おくび |

注) 症状があらわれた場合には投与を中止すること。

(4) 項目別副作用発現頻度及び臨床検査値異常一覧

該当資料なし

(5) 基礎疾患、合併症、重症度及び手術の有無等背景別の副作用発現頻度  
該当資料なし

(6) 薬物アレルギーに対する注意及び試験法  
添付文書より抜粋

**【禁忌（次の患者には投与しないこと）】**

1) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

**その他の副作用**

|                   |      |
|-------------------|------|
|                   | 頻度不明 |
| 過敏症 <sup>注)</sup> | 発疹   |

注) 症状があらわれた場合には投与を中止すること。

9. 高齢者への投与

**高齢者への投与**

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

10. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

**妊婦、産婦、授乳婦等への投与**

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

[妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。]

11. 小児等への投与

**小児等への投与**

低出生体重児、新生児、乳児、幼児又は小児に対する安全性は確立していない。

12. 臨床検査結果に及ぼす影響

該当しない

13. 過量投与

**過量投与**

徴候、症状：嘔気、嘔吐、尿閉、運動失調、錯乱、興奮、神経過敏、幻覚、呼吸抑制、嗜眠等を起こすことがある。

処置：一般的な薬物除去法（胃洗浄、活性炭投与等）により本剤を除去する。また、必要に応じて呼吸管理や対症療法を行う。ナロキソンの投与により改善したとの報告がある。



---

14. 適用上の注意

**適用上の注意**

- 1) 調剤時：水剤として配合する場合には、ヨウ化カリウム、ヨウ化ナトリウム等は難溶性のヨウ化水素酸塩を生じ、また、炭酸水素ナトリウム、アンモニア・ウイキョウ精等は遊離の塩基を析出することがあるので、これらとの配合は避けること。
- 2) 薬剤交付時：PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。[PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔を起こして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている。]

15. その他の注意

該当しない

16. その他

該当しない

---

## Ⅸ. 非臨床試験に関する項目

### 1. 薬理試験

#### (1) 薬効薬理試験

該当資料なし

#### (2) 副次的薬理試験

該当資料なし

#### (3) 安全性薬理試験

該当資料なし

#### (4) その他の薬理試験

該当資料なし

### 2. 毒性試験

#### (1) 単回投与毒性試験

該当資料なし

#### (2) 反復投与毒性試験

該当資料なし

#### (3) 生殖発生毒性試験

該当資料なし

#### (4) その他の特殊毒性

該当資料なし

---

## X. 管理的事項に関する項目

### 1. 規制区分

デキストロメトルファン臭化水素酸塩錠 15mg 「トーワ」

製剤：該当しない

有効成分：劇薬

劇薬：注射剤以外の製剤であって、1 個中右旋性デキストロメトルファンとして  
25mg 以下を含有するものは除かれる。

デキストロメトルファン臭化水素酸塩散 10% 「トーワ」

製剤：劇薬

有効成分：劇薬

劇薬：注射剤以外の製剤であって、1 個中右旋性デキストロメトルファンとして  
25mg 以下を含有するものは除かれる。

### 2. 有効期間又は使用期限

デキストロメトルファン臭化水素酸塩錠 15mg 「トーワ」

使用期限：5 年(外箱、ラベルに記載)

デキストロメトルファン臭化水素酸塩散 10% 「トーワ」

使用期限：4 年(外箱、ラベルに記載)

### 3. 貯法・保存条件

貯法：室温保存

### 4. 薬剤取扱い上の注意点

#### (1) 薬局での取り扱い上の留意点について

VIII. 14. 適用上の注意の項を参照

#### (2) 薬剤交付時の取扱いについて

患者向け医薬品ガイド：無

くすりのしおり：有

その他の患者向け資材：無

#### (3) 調剤時の留意点について

VIII. 14. 適用上の注意の項を参照

### 5. 承認条件等

該当しない

## 6. 包装

| 製品名                                  | 包装形態   | 内容量(重量、容量又は個数等) |
|--------------------------------------|--------|-----------------|
| デキストロメトルファン<br>臭化水素酸塩錠 15mg<br>「トーワ」 | PTP 包装 | 100 錠、1000 錠    |
|                                      | バラ包装   | 1000 錠          |
| デキストロメトルファン<br>臭化水素酸塩散 10%<br>「トーワ」  | バラ包装   | 500g、1kg        |

## 7. 容器の材質

| 製品名                                  | 包装形態   | 材質                  |
|--------------------------------------|--------|---------------------|
| デキストロメトルファン<br>臭化水素酸塩錠 15mg<br>「トーワ」 | PTP 包装 | PTP : ポリ塩化ビニル、アルミ箔  |
|                                      | バラ包装   | 瓶、蓋(乾燥剤入り) : ポリエチレン |
| デキストロメトルファン<br>臭化水素酸塩散 10%<br>「トーワ」  | バラ包装   | 袋 : アルミ・ポリエチレンラミネート |

## 8. 同一成分・同効薬

同一成分：メジコン錠 15mg、メジコン散 10%、メジコン配合シロップ

同効薬：ノスカピン等鎮咳剤ほか

## 9. 国際誕生年月日

不明

## 10. 製造販売承認年月日及び承認番号

| 製品名                                  | 製造販売承認年月日       | 承認番号             | 備考       |
|--------------------------------------|-----------------|------------------|----------|
| デキストロメトルファン<br>臭化水素酸塩錠 15mg<br>「トーワ」 | 1974 年 8 月 30 日 | (49AM)0332       |          |
|                                      | 2006 年 1 月 30 日 | 21800AMX10178000 | 販売名変更による |
|                                      | 2017 年 6 月 22 日 | 22900AMX00554    | 販売名変更による |
| デキストロメトルファン<br>臭化水素酸塩散 10%<br>「トーワ」  | 1974 年 8 月 30 日 | (49AM)0333       |          |
|                                      | 2006 年 1 月 30 日 | 21800AMX10177000 | 販売名変更による |
|                                      | 2017 年 6 月 22 日 | 22900AMX00553    | 販売名変更による |

## 11. 薬価基準収載年月日

| 製品名                                  | 薬価基準収載年月日      | 備考       |
|--------------------------------------|----------------|----------|
| デキストロメトルファン<br>臭化水素酸塩錠 15mg<br>「トーワ」 | 1975 年 1 月 1 日 |          |
|                                      | 2006 年 6 月 9 日 | 販売名変更による |
|                                      | 2017 年12 月 8 日 | 販売名変更による |
| デキストロメトルファン<br>臭化水素酸塩散 10%<br>「トーワ」  | 1975 年 1 月 1 日 |          |
|                                      | 2006 年 6 月 9 日 | 販売名変更による |
|                                      | 2017 年12 月 8 日 | 販売名変更による |

12. 効能・効果追加、用法・用量変更追加等の年月日及びその内容

効能・効果追加、用法・用量追加年月日：1977年10月22日

内容：気管支造影術および気管支鏡検査時の咳嗽等の追加

薬効再評価による用法用量の記載表示変更

13. 再審査結果、再評価結果公表年月日及びその内容

再審査結果：該当しない

薬効再評価結果公表年月日：1976年10月28日

薬効再評価結果：薬事法第14条第2項各号(承認拒否事由)のいずれにも該当しないとの結果を得た。

デキストロメトルファン臭化水素酸塩散 10%「トーワ」

品質再評価結果公表年月日：2004年9月7日

品質再評価結果：薬事法第14条第2項各号(承認拒否事由)のいずれにも該当しないとの結果を得た。

14. 再審査期間

該当しない

15. 投薬期間制限医薬品に関する情報

本剤は、投薬(あるいは投与)期間に関する制限は定められていない。

16. 各種コード

| 製品名                                  | HOT 番号    | 厚生労働省薬価基準<br>収載医薬品コード                         | レセプト<br>電算コード                           |
|--------------------------------------|-----------|---|---|
| デキストロメトルファン<br>臭化水素酸塩錠 15mg<br>「トーワ」 | 103741801 | 2223001F2013<br>(統一名)<br>2223001F2145<br>(個別) | 622893200<br>(統一名)<br>620374101<br>(個別) |
| デキストロメトルファン<br>臭化水素酸塩散 10%<br>「トーワ」  | 113692012 | 2223001B1260                                  | 621369212                               |

17. 保険給付上の注意

本剤は診療報酬上の後発医薬品である。

---

## X I . 文 献

### 1. 引用文献

- 1) 東和薬品株式会社 社内資料：加速試験(錠 15mg)
- 2) 東和薬品株式会社 社内資料：長期保存試験(錠 15mg)
- 3) 東和薬品株式会社 社内資料：長期保存試験(散 10%)
- 4) 東和薬品株式会社 社内資料：無包装状態における安定性試験(錠 15mg)
- 5) 東和薬品株式会社 社内資料：無包装状態における安定性試験(散 10%)
- 6) 東和薬品株式会社 社内資料：品質再評価；溶出試験(散 10%)
- 7) 東和薬品株式会社 社内資料：生物学的同等性試験；  
非抱合体の血漿中濃度及び非抱合体と抱合体の合計の血漿中濃度(錠 15mg)

### 2. その他の参考文献

該当資料なし

## X II . 参 考 資 料

### 1. 主な外国での発売状況

該当資料なし

### 2. 海外における臨床支援情報

該当資料なし

## X III . 備 考

### その他の関連資料

東和薬品株式会社 製品情報ホームページ

<https://med.towayakuhin.co.jp/medical/product/index.php>





製造販売元

**東和薬品株式会社**

大阪府門真市新橋町2番11号